

～ 労働基準監督官試験へ向けてのアドバイス～



氏名: 齋藤 隆介

所属: 大河原労働基準監督署

任官年月: 平成28年4月



1. この仕事を選んだ理由は何ですか？

以前勤めていた会社では労務管理や労働環境の改善を担当していましたが、会社の意向による制約が多く、仕事の範囲に限界を感じていました。そこで、これまでの悩んだり、苦勞した経験を生かし、労働基準監督官として、より高い専門性をもって一層広い範囲の労働環境の改善に携わりたいと考えたためです。

2. 1次試験対策としてどのような勉強をしましたか？

私は、文系区分の労働基準監督官A区分を受験しました。

教養試験対策として、判断推理、数的推理、資料解釈を中心に勉強しました。多少時間がかかっても確実に解答できる問題は間違えないことを意識し、問題演習を繰り返しました。

また、労働基準監督官の採用試験特有の労働事情の科目については、過去問とその解答及び解説を確認し、問題の出典の直近のものを読み込みました。これは記述式試験の対策としても役に立ちました。

3. 1次試験を突破する上で何が必要ですか？

どのくらい勉強すればよいかのゴールを決めて勉強することと、想定していない内容や出題形式の問題が出題されたとしても慌てないことと諦めないことだと思います。

4. 2次試験の面接を向かえる上でのポイントは？

労働基準監督官の職務内容や労働基準行政一般について改めて確認し、自分がどのような仕事をどのようにしたいかをまとめておくとよいと思います。

回答が難しい質問に対しては、難しく考えずに、感じたことを丁寧に答えることでよいと思います。